

支援者様との出会いを力にして ～第7回ワタミグループ社員ツアー～



夕食を食べながら交流

皆さん、こんにちは。日本は梅雨が明け、暑い夏に向かっていっているころでしょうか。こちらカンボジアは、毎日のようにスコールがあり、園内が青々と色づく季節になりました。また7月は、カンボジアの学校は学年末になるため、子どもたちは試験で成果を出せるようにとラストスパートの思いで、日々勉強に励んでいます。

今回のDream通信では、6月に来園されたワタミグループ社員ツアーの皆様との交流について、グループ農作業について、そして新職員についての3つをお伝えします。

ワタミグループ社員ツアー

6月12日、毎年2回お迎えしているワタミグループ社員ツアーの皆様が約30名来園してくださり、ツアーでの恒例となっているしっぽ取りゲームや日本語授業、伝統舞踊・伝統楽器の披露等、時間いっぱい交流することができました。

今回の伝統舞踊披露では2演目のうちのひとつを主に中学1年生の子どもたちで踊る演目としたのですが、中にはお客様の前で踊ることが初めてとなった子どももいたため、前日まで每晚特訓をしてこの日に備えました。大きい子どもたちも練習の見守り、指導と一丸となり準備しました。本番では少しぎこちなさもありましたが、来ていただいた皆様に喜んでもらいたいという思いで踊ることができました。

また、今回で7回目となったツアーですが、中には継続して参加してくださっている方々もいらっしゃいます。

ロン・ヴィラーは日本語を勉強している子どもの中でも優秀なひとりですが、前回日本語で会話をしてくださった方が、今回ヴィラーに宛て、手紙を書いてきてくださいました。

里親様でなくても名前を覚えていただけていること、自分の頑張りと成長を楽しみに来ていただき、激励の言葉をかけていただけたことは、日本語を勉強し、続けてきたことへの自信、励みとなりました。

時間はあっという間で、話したいことはつきないままお別れ



この日のために練習を積みました



激励の手紙をいただきました



土を耕し種を植えていきます



鍬を使って草刈をします



新事務員のリンさん



小学生の補習授業も担当しています

の時間となってしまいましたが、子どもたちは皆様からの期待を感じたようでした。

その期待を力にし、これからもお客様にさらに成長した姿をお見せできることを目指し、日本語や伝統舞踊、勉強、農作業と日々の努力を積み重ねてもらいたと思います。

グループ農作業

カンボジアでは6月より本格的に雨季に入りました。毎日の恵みの雨のおかげで野菜はぐんぐん成長し青々と茂り、また子どもたちが毎日変わる野菜の様子を楽しそうに確認している姿があふれる畑になっています。

ですが、このような雨季にも苦労はあります。

強い雨風でせっかく大きく実ってきた野菜が茎ごと折れてしまうこともあるため、1本1本チェックし雨に負けずに育つようにと枝などを立て補強します。特に子どもたちが大好きなとうもろこしは細く長いめししっかり管理が必要です。

また、刈っても刈ってもすぐに生えてくる雑草に、大きい子も小さい子も毎日のようにせつせと草刈をしながら、農作業に楽な時季はないということを体感しています。

しかし、自分の背丈ほどに追いついたとうもろこしを眺めると、子どもたちから笑顔がこぼれます。昨年たくさん取れたとうもろこしが今年は何れだけ実るかを楽しみに、子どもたちは毎日奮闘しています。

新職員

6月4日、「夢追う子どもたちの家」に新たに職員が加わりました。事務員のコーイ・リンさんです。

リンさんはこれまでお坊さんをしていましたが、園で新たに事務員を募集していることを知り、面接に来てくれました。

お寺に住みながら大学に通い、英語を勉強していたリンさんは、英語の能力を活かした仕事がしたい、大変な状況にいる子どもたちにより豊かな将来を送ってもらいたい、ということで、お坊さんをやめ、園に来てくれることになりました。大学は今も続け、土曜日と日曜日に通い英語の勉強をしています。

リンさんには主に子どもたちの学習に関わる仕事をしてもらっています。副園長のサポートを受けながらではありますが、小学生の補習授業をしたり、練習問題を確認したりしています。

また、夜に行なっている中学生以上を対象とした英語の補習も担当してもらっています。英語が得意で教え方もうまく、子どもたちからはとてもわかりやすいと信頼を集めています。

新しい職員、リンさんとともに、これからもより子どもたちの豊かな将来のために、学習面でも大いにサポートしていきたいと思っています。